

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

| 項 目                |                                                                            | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                   | ( 印 ) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                        |
|--------------------|----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------|
| <b>・理念に基づく運営</b>   |                                                                            |                                                   |       |                                                         |
| <b>1. 理念と共有</b>    |                                                                            |                                                   |       |                                                         |
| 1                  | 地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている      | あおいの理念及び理念に伴う基本方針を1F・2Fの玄関及び事務所に掲げている。            |       | 昨年のサービス評価の際、あおいの理念が長すぎるという指摘を受け短くする。                    |
| 2                  | 理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                         | 朝礼（毎朝）で理念と基本方針を職員全員で唱和し、実践出来る様に努める。               |       |                                                         |
| 3                  | 家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | 家族会や運営推進会議でご家族や地域の方々のご理解を頂ける様、説明及び質問を受けて理念の推進を図る。 |       | ご家族及び来客の方々が目につく場所に設置する事によって、あおいをより理解して頂くことに繋がってほしいと考える。 |
| <b>2. 地域との支えあい</b> |                                                                            |                                                   |       |                                                         |
| 4                  | 隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 開設以来、満4年が経過して近隣所との付き合いも以前に比べるとスムーズになって来ている。       |       | 今後、益々より良い関係の維持に努めて行きたいと考える。                             |
| 5                  | 地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている   | 地域の掃除・総会・運動会には必ず参加し、地域とのより良い友好関係を保つことに努める。        |       | 地域の大きな行事にもっと参加し、より深い相互理解を図って行きたいと考える。                   |

| 項目                                                                                                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                      | (印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                                         |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6<br>事業所の力を活かした地域貢献<br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる                   | 開設当初から私共のホームでは花作り・無農薬の野菜作りに取り組んでいる。                                                                  |     | 以前は参加出来た入居者の方々も最近では重度化し不可能な方々が多くなって来ている現在、ホームの廻りの農家を訪れ、野菜のでき具合及び花作りを一緒に見せて頂き楽しんでいる昨今である。 |
| 3. 理念を实践するための制度の理解と活用                                                                                  |                                                                                                      |     |                                                                                          |
| 7<br>評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                            | 今年も自己評価及び外部評価は職員全員参加で取り組むこととする。                                                                      |     | 下記の4つの担当に分かれて取り組んだ。<br>施設長<br>介護職<br>看護職<br>給食(管理栄養士)室の管理者                               |
| 8<br>運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている            | 2ヶ月に一度地域の民生委員・地域包括支援センター・訪問看護ステーションの理事長・有職者(九州大学名誉教授)家族の代表者2名の出席を得て、活発な意見を交換し、相互関係を深める良い機会であると考えている。 |     | 当ホームから介護職・看護職より入居者の現状を会議の中で発表する事に依って、あおいをより理解して頂けるのではないかと考える。                            |
| 9<br>市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                             | 地域包括支援センターを度々訪れ、あおいの実態を聞いて頂く事も多く、反対に包括の方から訪問して頂く等、何でも話し合える連携を築いて行きたいと考える。                            |     |                                                                                          |
| 10<br>権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 管理者や職員は、グループホーム協議会及び、研修等で地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を得る。学んだ成果を研修報告として職員会議で伝える様にしている。                   |     | 管理者や一部の職員だけでなく、全職員が権利擁護に関する制度を勉強する機会を得たいと考える。                                            |
| 11<br>虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている            | 入居者の(不穏時)職員への暴力は見られるが、反対は絶対にあってはならないと考える。                                                            |     | 常にスタッフは虐待をしない、行ってはいけないと言う意識を持ち続けていく努力を惜しまない。                                             |

| 項 目              |                                                                                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                  | ( 印 ) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                                                       |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 . 理念を実践するための体制 |                                                                                           |                                                                                                  |       |                                                                                                        |
| 12               | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>            | <p>契約時は施設長・管理者・介護者・看護職・事務職と入念な説明等に対応している。解約時のご家族の決断をしっかりとって、納得して頂いた上でやっている。</p>                  |       | <p>入居の際、十分な聞き取りが出来たと思っても入居後、不十分だったと気付く事も多々あり、より深い面接・聞き取りが必要であると考え。入居者の転居の際は、当ホームが次の入居先を探すことを前提とする。</p> |
| 13               | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>           | <p>直接、意見・不満・苦情を訴える事が出来る入居者は少ないが、職員一同可能な限り意見を取り入れる努力を惜しまない様に心掛ける。口に出して言えない入居者には表情等で見極める努力をする。</p> |       | <p>日常業務に追われる毎日であるが、出来得る限り入居者の方の訴え、意見をしっかりと見極めること。難しいことではあるが、それを克服する事がより良い介護に繋がると考える。</p>               |
| 14               | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>         | <p>2ヶ月毎に出すホームの通信に、入居者の方のホームでの様子・健康状態・又は担当介護士の交代のお知らせ等を掲載している。他に請求書発送時に小口預かり金の現在高もお知らせしている。</p>   |       | <p>日々の体調変化はご家族の面会時に担当職員が直接お話ししたり、電話で報告する様にしている。</p>                                                    |
| 15               | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>           | <p>苦情相談員（元民生委員長、深町輝子氏）を設けている。又は、家族代表（現在2名）に相談される事もある。</p>                                        |       | <p>ご家族が何でも言える雰囲気を作って行くことが大切だと考えるが、現実には難しい様である。努力を続けたい。</p>                                             |
| 16               | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の見解や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>                       | <p>職員会議・運営推進会議・勉強会等で職員の見解や提案を聞く機会を設けている。意見をまとめて記録し、より良い運営を推進する機会であると考え。</p>                      |       | <p>管理者が職員一人一人の意見を聴き、それを運営者と共に検討し、より良い運営に生かして行きたいと考える。<br/>(例 休憩所の設置 H21.6月頃に、庭に別棟の中に完成する。)</p>         |
| 17               | <p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>職員の病気や入院時には他の職員が変わる等の対応で調整を行い、又職員の家族の病気入院等の場合も出来る限り対応している。</p>                                |       | <p>利用者の病院受診時、家族の付添が困難な時は、通常業務に支障が出ない様にしてスタッフにて対応を行う。</p>                                               |

| 項 目         |                                                                                                                                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                      | ( 印 ) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                                                              |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 18          | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>                                | <p>職員の離職を防ぐことが大切であると常々考えるが、現実には色々難しく最小限度に抑える努力に留まる。</p>                              |       | <p>あおいが魅力ある職場である事が離職を減らす何よりの方法だと考えるので、その方向で努力する。</p> <p>* 何でも言い易い環境</p> <p>* 休日をしっかり採れる</p> <p>* 職員の休憩の確保</p> |
| 5. 人材の育成と支援 |                                                                                                                                               |                                                                                      |       |                                                                                                               |
| 19          | <p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p> | <p>職員採用にあたっては性別や年齢等で判断していない。当ホームでは60歳以上の職員も多く、その経験・能力を存分に生かして業務に当たって貰っている。</p>       |       | <p>畑や野菜作りが得意な能力をホームの畑で無農薬の野菜・花作りに精を出して貰っている。天気の良い時は入居者も参加して皆で楽しんでいる。</p>                                      |
| 20          | <p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>                                                                | <p>入居者のファイル等は人目に触れないキヤビネットに保管し(個人情報保護法により)6ヶ月に一度のあおいだよりの写真掲載時は、ご家族の許可を頂く様になっている。</p> |       |                                                                                                               |
| 21          | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>                                             | <p>あおいの職員は比較的年配者が多いが、市・県・GH協議会等の研修及び勉強会は若い職員の出席を促し、出来るだけ勉強の機会を作って行きたいと思う。</p>        |       | <p>日常の業務に追われ、職員育成の機会が充分でないと思われるので、出来る限り多くの時間を作って行きたいと考える。現在は毎月の職員会議の前に講師を招き、議題を設け勉強会を行っている。</p>               |
| 22          | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>                                   | <p>他施設の管理者及び職員との交流を持ち、情報交換する事は当ホームのサービス向上に繋がると考える。</p>                               |       | <p>今後一層の交流を計りたい。</p>                                                                                          |
| 23          | <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>                                                                      | <p>職員のストレス軽減の第一の方法として、長時間認知症の入居者に対応はストレスに連がるので休憩場所ですっきり休みを取ることは大切な事と考える。</p>         |       | <p>従って、今般ホームの庭に職員が足を伸ばして休みが取れる場所を作っている。(H21.6月完成)又は、食事会・クリスマス会・忘年会・新年会等の時間も作って行けたらと考える。</p>                   |

| 項 目                              |                                                                                                                  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                  | ( 印 ) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                                          |
|----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 24                               | <p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>                             | <p>職員の個々の努力や実績を認め、正しい評価をする事が入居者のより良い介護に繋がって行くと考え。</p>                                            |       | <p>より良いケアが出来ている職員には、給与・賞与等で考慮する様にし、頑張っている職員が落胆しない様な、働き甲斐のある給与体制を整えて行く様しっかり考慮したい。</p>      |
| <p><b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> |                                                                                                                  |                                                                                                  |       |                                                                                           |
| <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p> |                                                                                                                  |                                                                                                  |       |                                                                                           |
| 25                               | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>                  | <p>相談を受け利用に至るまでの連絡を密に取り、情報の交換を行い、本人の不安・疑問に対してよく聞きコミュニケーションが密にとれる雰囲気作りに努めている。</p>                 |       | <p>利用後(入居後)に分かること、書類に記載されていない事が多く、出てきた問題の一つひとつ対応していかねばならない。スタッフ間で十分に話し合うことが解決の近道と考える。</p> |
| 26                               | <p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>                       | <p>来訪時には、家族の要望を伺い家族とのコミュニケーションが密に取れる雰囲気作りに努める。</p>                                               |       | <p>来訪時にスタッフから声掛けを行い、家族の要望や希望されている事を伺う努力を心掛けていく。</p>                                       |
| 27                               | <p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>                               | <p>ホーム入居の条件に合うか情報を伝え、家族と本人に入所の希望を判断して頂いている。ケアプラン作成中の中で担当スタッフやケアマネ・他のスタッフとカンファレンスを聞き支援に努めている。</p> |       |                                                                                           |
| 28                               | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>ホームに慣れて頂く方法として、ショートステイに取り組んでいる。利用者の嗜好や趣味などを十分に聞き取り、説明を十分に行いホームに早く慣れて頂く様にしている。</p>             |       | <p>体験入居も取り入れている。</p>                                                                      |
| <p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p> |                                                                                                                  |                                                                                                  |       |                                                                                           |
| 29                               | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>                       | <p>本人の能力に応じお手伝いをして頂き、働く喜びや人に役立つ喜びを味わって頂いている。レクリエーション・散歩・各行事にスタッフと一緒に参加する事でお互いに助け合える関係を築いている。</p> |       |                                                                                           |

| 項 目                                                 |                                                                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                      | ( 印 ) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                   |
|-----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------------------------------------------------------------|
| 30                                                  | 本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている         | 行事(新年会・お茶会・夏まつり・長寿の祝い・餅つき大会・クリスマス会・誕生会)に家族の参加を呼びかけ、協力をお願いしお互いに助け合える関係を作っている。                                         |       | 各行事等に家族の参加を呼びかけ、協力をお願いしていきたい。                                      |
| 31                                                  | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している             | 家族との外出・ドライブ、お正月・お盆等の外出や外泊などの本人家族の希望を取り入れている。                                                                         |       | 家族へ働きかけ、出来るだけ本人の希望を叶えて頂ける様にサポートして行きたい。                             |
| 32                                                  | 馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている               | 友人や知人の来訪があり、利用者が喜ばれている。スタッフも一緒にお話しを聞く事もある。                                                                           |       | 多くの方が気軽に訪れて頂ける様に働きかけたい。                                            |
| 33                                                  | 利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている              | 一人ひとりの性格や利用者同士の相性の問題を考慮し、居室の変更や食卓の座席移動も行っている。<br>本人の能力に合わせた家事のお手伝いをお願いし、スタッフも一緒に行うよう事により利用者同士のコミュニケーションが取れる様に心掛けている。 |       |                                                                    |
| 34                                                  | 関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | ホームを退所されても又遊びに来て下さったり、入院等の方は状況を教えて下さる事もあり、こちらから伺う事もある。                                                               |       | 退所されても見舞に伺う等、出来るだけ関係を保つ様に心掛けている。退居者・死去の際は、当ホームの職員・代表者が通夜・葬儀に伺っている。 |
| <p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p> |                                                                               |                                                                                                                      |       |                                                                    |
| 35                                                  | 思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                   | 可能な限り一人ひとりの希望を叶える事が出来る様な支援をしていけたらと考える。                                                                               |       | 今まで以上に外出やレクリエーションを増やしていきたいと思う。                                     |

| 項 目                            |                                                                                                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                      | ( 印 ) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                              |
|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------------|
| 36                             | これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | ある事例 M氏<br>主婦である為、洗濯物干しや洗濯物畳みなどとても進んでやっておられるが、体調や気分などを配慮しながら取り組んでいる。 |       |                                                               |
| 37                             | 暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている                                          | 毎朝のバイタルチェック、昨日の夜の様子の聞き取り、観察を行い必要に応じて記録する。                            |       |                                                               |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し |                                                                                                    |                                                                      |       |                                                               |
| 38                             | チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 毎朝、朝礼時のカンファレンスで現在の問題点を話し合い、その結果を家族に報告し意見を取り入れ介護計画を作成している。            |       | 更に利用者本位の介護計画作成に取り組める様に毎朝のカンファレンス以外にも幅広い意見を出し合える時間をもち、取り組んでいく。 |
| 39                             | 現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 入院・退院後のADL低下などで、見直しの必要性があればカンファレンスを行い、本人や家族の希望を第一に考慮し、介護計画を作成している。   |       |                                                               |
| 40                             | 個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                         | 問題異常時には速やかに記録をカンファレンスにかけて検討し、介護計画の見直しに活かしている。                        |       |                                                               |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援              |                                                                                                    |                                                                      |       |                                                               |
| 41                             | 事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                                   | 大きな行事はグループホームに併設するデイサービスと一緒にいる。                                      |       | 一緒に行えない行事もあるが、出来るだけ助け合い柔軟な支援が出来たらと考える。                        |

| 項 目                         |                                                                                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                              | ( 印 ) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                           |
|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------------------------------------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 |                                                                                 |                                                                                                              |       |                                                            |
| 42                          | 地域資源との協働<br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している               | ホームの運営活動には、民生委員・ボランティア・警察・消防・文化教育機関との協力が不可欠である。当ホームでは、前記の機関といつも良い関係を保つ努力をしている。                               |       | 月に一度、民謡会（先生と他2名来訪）と念に4回ピアノ演奏と声楽の先生の「歌おう会」を催している。           |
| 43                          | 他のサービスの活用支援<br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている    | 努めて他のケアマネジャーやサービス事業者との話し合いを持ち、支援の輪を広げていく様に心がけている。                                                            |       |                                                            |
| 44                          | 地域包括支援センターとの協働<br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している   | 地域包括支援センターとの協働は運営推進委員会に必ず出席して頂く様に願いし、あおいの実状を知って頂き、反対に地域包括支援センターの現在の状況や考え方を教えて頂いている。                          |       | あおいを客観的に見て頂く大切な機関であると考えるので、今後とも地域包括支援センターとの交流を密に持ちたいと考える。  |
| 45                          | かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している   | 本人・家族の意向と主治医（内科医）を決定し、他に整形外科・歯科・眼科・耳鼻科・皮膚科の往診を受けている旨を説明し、ご家族に決めて頂いている。当ホームは訪問看護ステーションとの医療連携を結んで24時間体制を執っている。 |       | 入居後、殆どのご家族はホームのかかりつけ医に決められるが、中には入居前からのかかりつけ医に引き続きかかれる方もいる。 |
| 46                          | 認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 昨年より認知症に造詣の深い専門医に巡り合い、現在では往診等で支援を受け、心強い限りである。                                                                |       | 他の先生方（歯科・眼科・耳鼻科・皮膚科）も高齢者・認知症を理解の上に対応して頂き、ご家族にも安心して頂いている。   |
| 47                          | 看護職との協働<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている                | 当ホームは3名の看護師が看護にあたり、他に医療連携を結んでいる訪問看護ステーションの理事長に週一回の訪問看護を受けている。                                                |       | 緊急時に24時間何時でも対応して貰えるので、日勤の職員は勿論のこと、夜勤の職員にも心強い味方である。         |



| 項 目                                                                      |                                                                                                                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                                                                                                                                                              | ( 印 ) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                                                         |
|--------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 48                                                                       | 早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している                      | 現状の把握の為入院された医療機関に出向き、退院後の指導を受けたり、連携している訪問看護ステーションより今後の身体的問題点や生活全般における介護・看護支援の指導も受けている。                                                                                                                                                                       |       |                                                                                                          |
| 49                                                                       | 重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している                                   | ターミナルケア利用者が発生時は定期的な主治医の往診、訪問看護ステーションの看護を受けながら全員が指導・指示を申し送りノートを通じ共有している。                                                                                                                                                                                      |       | 入居前にご家族との綿密な話し合いの場を持ち現在殆どのご家族が当ホームでのターミナル看取りを望んでおられる為利用者発生時には訪問看護ステーションより問題点や指導を要する点についてはその都度勉強会を開いてもらう。 |
| 50                                                                       | 重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 【87歳 女性】<br>慢性心不全・狭心症等の既往症があり、不整脈や脈拍の変動がみられ、疲労感を確認した時には安静が保持出来る様に居室で臥床して頂いている。スタッフは家族より持ってきて頂いた本を読み聞かせ、本人の好きなCDの歌と一緒に唄うなど出来る限り一人にせず歌の好きな入居者と一緒に楽しい時間を持てる様に努力している。日勤・夜勤者共に居室の巡回を頻回に行い、急変の早期発見に努力している。主治医・訪問看護ステーション往診時の情報・指示を確認するように毎日の申し送りや記録でスタッフ全員が周知している。 |       |                                                                                                          |
| 51                                                                       | 住み替え時の協働によるダメージの防止<br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている                      | 当ホームでの状況を利用者のご家族と話し合い本人の心配や不安が少しでも軽減し、住み替え先でもより良いケアが受けられる様に支援している。利用者がなれて頂くまで様子観察や声掛け・非言語的コミュニケーションを取ってダメージを防ぐことに努めている。                                                                                                                                      |       |                                                                                                          |
| <p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p> |                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                              |       |                                                                                                          |
| 52                                                                       | プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                                                            | 全スタッフがプライバシー保護の重要性を理解し、一人ひとりの人格を尊重した言葉をかけ、ケアを行っている。記録等が他者の目に触れない様にしている。                                                                                                                                                                                      |       |                                                                                                          |

| 項 目                             |                                                                                       | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                             | ( 印 ) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                        |
|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------|
| 53                              | 利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 日々の身体状況や行動を観察しながら本人の訴えに傾聴・共感し不穏にならない様な対応を行っている。                                                             |       | より深く利用者とのコミュニケーションを取りながら、本人の思いや希望を表現出来るような問い掛けを行って行きたい。 |
| 54                              | 日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している       | 声掛けを行い、拒否時は無理を一切しない。                                                                                        |       |                                                         |
| ( 2 ) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |                                                                                       |                                                                                                             |       |                                                         |
| 55                              | 身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている                  | 朝食後の口腔ケア後に化粧の習慣がある方はお手伝いをし、又月1回の訪問理・美容で支援している。                                                              |       |                                                         |
| 56                              | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている           | 食事中は入居者の好みに合わせてCDの音楽を聞きながら、楽しい雰囲気の中での食事を心掛けている。                                                             |       |                                                         |
| 57                              | 本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している                  | AM10時・PM15時に飲み物を出している。<br>おやつは手作りなども提供している。<br>お酒は新年会のお屠蘇のみで煙草は現在利用者の中で吸う方はいない。                             |       | 夜中にお腹が空いたと訴え不穏になる入居者には、お部屋で軽いおやつをさし上げて対応している。           |
| 58                              | 気持ちよい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している              | 個別の排泄パターンを記録し、一人ひとりの習慣に合わせて声掛けを行ったり、トイレにお連れしている。<br>夜間帯は居室内のポータブルトイレ使用に対応している。日中はリハパンツ・夜間帯はオムツなどで使い分けをしている。 |       |                                                         |

| 項 目 |                                                                                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                            | ( 印 ) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                  |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------|
| 59  | 入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している    | ・おおまかな入浴時間は決めているが、いつでも入浴出来る様に体制は整えている。<br>・入浴前は体調確認と本人の希望を聞き、ゆっくり入浴して頂いている。                |       | 拒否がある時は、無理強いしない様になっている。<br>言葉をかけ、その日の状態によって変えている。 |
| 60  | 安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している                     | 起床時間は本人の体調も考え、無理強いせず声掛けで行っている。<br>昼寝の時間は適度にして頂き、時間をみて訪室と声掛けにて対応している。                       |       | 居室にて好きな事(音楽を聴く等)をしてリラックスする時間を作る。                  |
| <   |                                                                                 |                                                                                            |       |                                                   |
| 61  | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている  | 不安や不穏が見られた時は、場所や話題を変えて気分転換が出来る様に行っている。<br>趣味や特技を活かし、日々の日課や楽しみの支援を行っている。                    |       | 音楽を聴いたりして気分転換を図り、外の景色を見たり、それぞれ可能な限り対応していきたい。      |
| 62  | お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | お金を持っていないと不安になる利用者の方は小銭を持って頂き、その他の利用者の方はホームにて管理している。<br>必要な物があれば家族へ連絡したり、係の方へ依頼したりと対応している。 |       |                                                   |
| 63  | 日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                    | 出来る限り利用者の希望を聞き、可能な限り外へ出かける様にしている。                                                          |       | 利用者の好みや希望に添う対応を行っていきたい。                           |
| 64  | 普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 利用者の方がご家族と共に出かけられる事もあり、又地域や催し物を観覧する為に出かける機会もある。                                            |       | ご家族と利用者の方の希望を聞きいれ、可能な限り対応していきたい。                  |

| 項 目               |                                                                                        | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                            | ( 印 ) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)         |
|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|-------|------------------------------------------|
| 65                | 電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                  | 本人の希望時には家族へ電話で話され安心される事もある。                                                |       |                                          |
| 66                | 家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している                   | ご家族や知人・友人等が気軽に来て頂ける様な雰囲気を心掛けている。来客時はお茶・お菓子等で接待を心掛け、穏やかに和やかに話が進む様に支援している。   |       |                                          |
| ( 4 ) 安心と安全を支える支援 |                                                                                        |                                                                            |       |                                          |
| 67                | 身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 事故防止の為のケアが絶対に身体拘束にならない様に見守り強化・代替によるケアの学習方法の共有を行っている。                       |       |                                          |
| 68                | 鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                  | 利用者の帰宅願望が強くなり不穏状態時は、スタッフ同志声掛けを行い、見守りを強化し又、スタッフと一緒にホーム内を散歩し気分転換を図る様に対応している。 |       |                                          |
| 69                | 利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している                           | 常にスタッフ同士声を掛け合い、利用者の所在や様子の把握に努めて対応している。                                     |       |                                          |
| 70                | 注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている                     | 包丁は一律に保管しているが、ハサミ・手洗い洗剤・消毒剤等は物陰に置いている。常に危険物の管理に注意を払う様心掛けている。(薬の保管等も含める)    |       | 未使用の物は倉庫に収納している。必要時にその都度倉庫の中から出して使用している。 |

| 項 目                          |                                                                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                               | ( 印 ) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                     |
|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------------------------------------------------------|
| 71                           | 事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる       | マニュアルを作成している。<br>スタッフ同士が声掛け連携を取り、見守りにより事故防止を強化して取り組んでいる。                                                      |       |                                                      |
| 72                           | 急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている                 | 消防署が開催する講習会にスタッフで出向き、人工呼吸・心臓マッサージなど救命訓練を定期的に受講している。<br>利用者の急変時対応には、訪問看護ステーションとの医療連携を結び、24時間支援体制が整っている。        |       |                                                      |
| 73                           | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている   | 年2回の避難訓練を行い、その都度出火場所を変え、避難経路も全職員が周知し、全てのドアや避難口は利用者が内側から容易に開錠出来る様になっている。<br>又、夜間帯が手薄となる為夜間想定避難訓練を重視したい。        |       |                                                      |
| 74                           | リスク対応に関する家族等との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | 転倒・急変など見守りしていても起こりうる事については、入居者や面会などにご家族に説明し、ADL低下のある時はその都度伝えて対応している。                                          |       |                                                      |
| ( 5 ) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |                                                                             |                                                                                                               |       |                                                      |
| 75                           | 体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている           | 定時にバイタルチェックを行い、利用者の普段の状態を把握している。きちんとした訴えが出来るのは1～2名の為、心身の異常や変化に素早く気づき対応出来る様に、24時間相談や指導を受けれる訪問看護ステーションや医療機関がある。 |       | 異常「何か変。いつもと違う。」の早期発見が出来る様見守りや観察を行っている。               |
| 76                           | 服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている       | 医師の指示で出された処方せんを活用し、薬剤の治療目的・薬の用法は医師の指示通り服薬出来る様支援している。又、表情の変化や便秘・下痢・食欲低下などは、日頃の状態観察を重視している。                     |       | 日常の状態変化においては医師にFAXで報告し、使用薬剤の変更が行われた場合は家族にも情報を発信している。 |

| 項 目                     |                                                                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                                                              | ( 印 ) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                                    |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 77                      | 便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる         | 便秘の原因を探り、一日の暮しの中で飲水量を増やすしたり、繊維質の多い食品や乳製品を献立やおやつにも取り入れている。排便が3日見られない時は本人に説明し、肛門周囲のマッサージ・看護師による排便で対応できている。                                                     |       |                                                                                     |
| 78                      | 口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている                   | 毎食後、一人ひとりに合った口腔ケアブラシを利用して頂き、磨き残しには歯間ブラシで支援している。                                                                                                              |       |                                                                                     |
| 79                      | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている      | ・食事摂取や身体の機能対応食<br>(咀嚼や嚥下機能に合ったもの。主食や副食の形態の対応)<br>・病態治療食対応<br>(嗜好を考慮し残菜が少なく食べてもらえる様な治療食)<br>・個人の水分摂取量の毎日の記録<br>(朝食後・10時頃・昼食後・3時・夕食後・寝る前)                      |       | 身体機能に応じた自助具の活用によって食事の自力維持につなげて行きたい。<br>低栄養や脱水を防ぐ事はもちろん食の嗜好を理解しつつ、バランスのとれた食事作りをする。   |
| 80                      | 感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)            | 研修会参加や勉強会を行い、スタッフに報告し感染症予防マニュアルも作成されている。又、利用者の体調の変化に早期に気付き、医療機関の受診に付き添い他の利用者へ感染が広がらない様に対応している。                                                               |       |                                                                                     |
| 81                      | 食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている           | ・保存食の実施(1食品約50g - 15 で3日間保存)<br>・冷凍、冷蔵庫の温度チェック<br>・まな板、包丁の使い分け(肉、野菜、魚の区別)<br>・大型冷凍、冷蔵庫設置により食材の安全管理<br>・コンベクション使用により食品の中心温度の確認<br>・食品納入時のチェック<br>・なるべく旬の食材の使用 |       | 保存食の実地や食材料の品質温度チェックを密に行う。                                                           |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり |                                                                             |                                                                                                                                                              |       |                                                                                     |
| (1) 居心地のよい環境づくり         |                                                                             |                                                                                                                                                              |       |                                                                                     |
| 82                      | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 玄関廻り、庭に沢山の樹木(桜・はなみずき・つつじ)花々(パンジー・ビオラ・ストック等々)を植え、近隣の人々や面会者(ご家族)に楽しんで頂いている。                                                                                    |       | 職員が庭の奥の畑に野菜(無農薬)を作っているのので通りがかりの方や面会の方々が立ち寄って下さる。収穫時には入居者と一緒に楽しんだり、ホームの献立にいれる様にしている。 |

| 項 目                       |                                                                                                          | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                 | ( 印 ) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                        |
|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------|
| 83                        | 居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居者の方々に心地よい空間を作って差し上げる事は最も大切な事であると考え、常々スタッフ間で話し合う機会を持つ様に努める。                                    |       | 玄関・廊下・居間・台所・食堂・浴室・トイレは常に清潔に保ち、家で過ごしている様な気分を味わって頂きたいと願う。 |
| 84                        | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | 本人の意向で居室で過ごされたり、TVの前のソファで過ごされている。CDを聴かれたり一緒に唄われたりして楽しまれている。スタッフも中に入り歌ったり話をするなどして一緒に楽しむ時間を持っている。 |       |                                                         |
| 85                        | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 居室で心地よく住んで頂くには、今まで使っておられた家具・調度品を配置する事も大切な要素であると考える。                                             |       | 思い出の写真・絵を飾る事も本人が落ち着かれる事に繋がる要素だと考える。                     |
| 86                        | 換気・空調の配慮<br>気になるにおいや空気のおよみがないうよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている                         | 朝は窓を開け、新鮮な空気を入れる様に心掛ける。<br>(特別寒い日は除き)温度も常に適温を保っている。                                             |       | 居室は個人の体調に合わせて調整している。                                    |
| ( 2 ) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |                                                                                                          |                                                                                                 |       |                                                         |
| 87                        | 身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                   | トイレ・浴室・ホームに手すりを設置しており、安全に移動する事が出来る。                                                             |       | ホールでの歩行訓練も可能である。                                        |
| 88                        | わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している                                             | 例 ホームで犬を飼っているが、エサやりを自分の仕事と思う入居者には本人が希望される時はやって貰う様にする。                                           |       | 訴えはすべて受け入れ、混乱しない対応や声掛けを行っている。                           |
| 89                        | 建物の外周りや空間の活用<br>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている                                                     | 天気の良い日には庭に出て日光浴を行ったり、散歩も常々行う。                                                                   |       | 6月下旬迄に庭に歩くコース(散歩道)を設置の予定                                |

| . サービスの成果に関する項目 |                                                  | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 |  |
|-----------------|--------------------------------------------------|-----------------------|--|
| 項 目             |                                                  |                       |  |
| 90              | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | ほぼ全ての利用者の             |  |
|                 |                                                  | 利用者の2/3くらいの           |  |
|                 |                                                  | 利用者の1/3くらいの           |  |
|                 |                                                  | ほとんど掴んでいない            |  |
| 91              | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | 毎日ある                  |  |
|                 |                                                  | 数日に1回程度ある             |  |
|                 |                                                  | たまにある                 |  |
|                 |                                                  | ほとんどない                |  |
| 92              | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ほぼ全ての利用者が             |  |
|                 |                                                  | 利用者の2/3くらいが           |  |
|                 |                                                  | 利用者の1/3くらいが           |  |
|                 |                                                  | ほとんどいない               |  |
| 93              | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | ほぼ全ての利用者が             |  |
|                 |                                                  | 利用者の2/3くらいが           |  |
|                 |                                                  | 利用者の1/3くらいが           |  |
|                 |                                                  | ほとんどいない               |  |
| 94              | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           | ほぼ全ての利用者が             |  |
|                 |                                                  | 利用者の2/3くらいが           |  |
|                 |                                                  | 利用者の1/3くらいが           |  |
|                 |                                                  | ほとんどいない               |  |
| 95              | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                     | ほぼ全ての利用者が             |  |
|                 |                                                  | 利用者の2/3くらいが           |  |
|                 |                                                  | 利用者の1/3くらいが           |  |
|                 |                                                  | ほとんどいない               |  |
| 96              | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている          | ほぼ全ての利用者が             |  |
|                 |                                                  | 利用者の2/3くらいが           |  |
|                 |                                                  | 利用者の1/3くらいが           |  |
|                 |                                                  | ほとんどいない               |  |
| 97              | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ほぼ全ての家族と              |  |
|                 |                                                  | 家族の2/3くらいと            |  |
|                 |                                                  | 家族の1/3くらいと            |  |
|                 |                                                  | ほとんどできていない            |  |



| 項 目 |                                                         | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 |  |
|-----|---------------------------------------------------------|-----------------------|--|
| 98  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                        | ほぼ毎日のように              |  |
|     |                                                         | 数日に1回程度               |  |
|     |                                                         | たまに                   |  |
|     |                                                         | ほとんどない                |  |
| 99  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 大いに増えている              |  |
|     |                                                         | 少しずつ増えている             |  |
|     |                                                         | あまり増えていない             |  |
|     |                                                         | 全くいない                 |  |
| 100 | 職員は、生き生きと働いている                                          | ほぼ全ての職員が              |  |
|     |                                                         | 職員の2/3くらいが            |  |
|     |                                                         | 職員の1/3くらいが            |  |
|     |                                                         | ほとんどいない               |  |
| 101 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | ほぼ全ての利用者が             |  |
|     |                                                         | 利用者の2/3くらいが           |  |
|     |                                                         | 利用者の1/3くらいが           |  |
|     |                                                         | ほとんどいない               |  |
| 102 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | ほぼ全ての家族等が             |  |
|     |                                                         | 家族等の2/3くらいが           |  |
|     |                                                         | 家族等の1/3くらいが           |  |
|     |                                                         | ほとんどできていない            |  |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

介護の仕事は、多くの仕事の中でも身体的にも精神的にも重労働です。その重労働を強いられている介護者が心身ともに健全でないと入居者に対して良い介護は出来ないと考えます。前記でも問われていますが、職員のストレス軽減の一つとして当ホームでは、足を伸ばしてゆっくり休憩出来る空間の設置に取り組んでいます。又、建物の設置と同時に入居者の方々の脚力低下の防止の一環として、庭に歩く歩道を作っています。(6月末完成予定)